

狛江市議団ニュース



日本共産党

発行：日本共産党狛江市議団 日本共産党狛江市議団の活動を紹介します。
連絡先：狛江市和泉本町1-1-5 団控室 ☎3430-1177 (FAX兼用)

2023
12



荒木てつ



岡村しん



宮坂良子



西村あつ子



狛江市議団が中心となりガザ人道支援募金と即時停戦を訴え

財源十分あるのに 2022年度決算 市民生活支援が不十分

中央図書館の分割移転 — 市民参加条例の趣旨に反する

10月5日の本会議では昨年度の決算に対する討論採決が行なわれ、自民、公明、立憲、分・維などの賛成多数で認定されました。日本共産党は、宮坂良子議員が「十分な財政がありながら市民生活支援が不十分であり、市民センター改修問題では市民参加と協働の条例の趣旨に反し後退した」と決算の認定に反対する討論を行ないました。

※会派名「分・維」は「分かりやすい政治を伝える・維新の会」。三宅議員ときたみ議員が所属

拡大などは評価

子どもの医療費無料化

決算では日本共産党がくり返し求めてきた子どもの医療費無料化の小学校3年生から6年までの所得制限撤廃ができるものです。

施されておりこれらは評価できるものです。

廃や就学援助制度の拡大、子どもの国民健康保険税の軽減などが実施されておりこれらは評価できるものです。

こまYELへの相談 月800件

しかし昨年度は物価高騰とコロナ禍で市民生活は大変厳しく、市民生活への支援を行なう相談窓口「こまYEL」への相談は、コロナ禍前の4倍、月800件を超えるました。

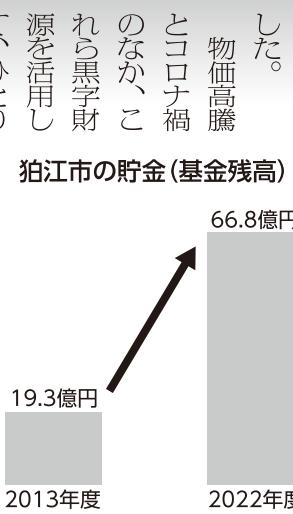
一方、市が実施した物価高騰対策と新型コロナ対策の24億円は、大半が国や都の交付金を活用したもので、市

の財源の支出は4%（9900万円）に留まりました。

20億円余の黒字 市財政が大きく改善

狛江市の財政は改善が進み昨年度の決算は20億円余の黒字でした。市が自由に使える経常一般財源も過去最大となりました。

親家庭はじめ子育て世帯や高齢者世帯への支援、国民健康保険税の値上げ中止など行なうべきでした。



市民参加と協働が後退

昨年度は新図書館整備構想が策定されましたが。しかし中央図書館の分割・移転はあまりに不便になるので、現在地で充実すべきとの声が広がり4200筆を超える署名が提出されています。市が分割を進めています。



2・3・4面のダイジェスト

2・3面…4人の議員の一般質問と補正予算の内容PFAS対策、インボイス問題

4面……4人の議員の一般質問その2

健康保険証の存続を求める陳情

自民、公明、分・維など陳情に反対否決



日本共産党市議団は宮坂良子議員が陳情に賛成の立場から討論し「健康保険証の廃止は国民皆保険制度の根幹を破壊する重大問題になりますからねません」「政府は、保険診療を受けることができない人が生じないよう健康保険証を存続させることを強く訴えました。

(関連記事2面)

日本共産党は陳情採択を主張 「廃止すれば重大な医療事故の危険」

10月5日の本会議で、「健康保険の存続をもとめる陳情」が自民、公明、分・維などの反対で否決されました。賛成は共産・立憲・生活系など。

政府と自民・公明・維新などは、来年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化

する法案を6月2日に可決・成立了させました。

陳情は「マイナ保険証に関するトラブルが続出し多くの患者・国民が不安を抱えています」「他人の情報が紐付けられていたケーブル」もあり「重大な医療事故につながりかねません」として「誰も

が安心して医療を受けられるよう存続することを求めます」と述べています。

日本共産党市議団は宮坂良子議員が陳情に賛成の立場から討論し「健康保険証の廃止は国民皆保険制度の根幹を破壊する重大問題になりますからねません」「政府は、保険診療を受けることができない人が生じないよう健康保険証を存続させることを強く訴えました。

